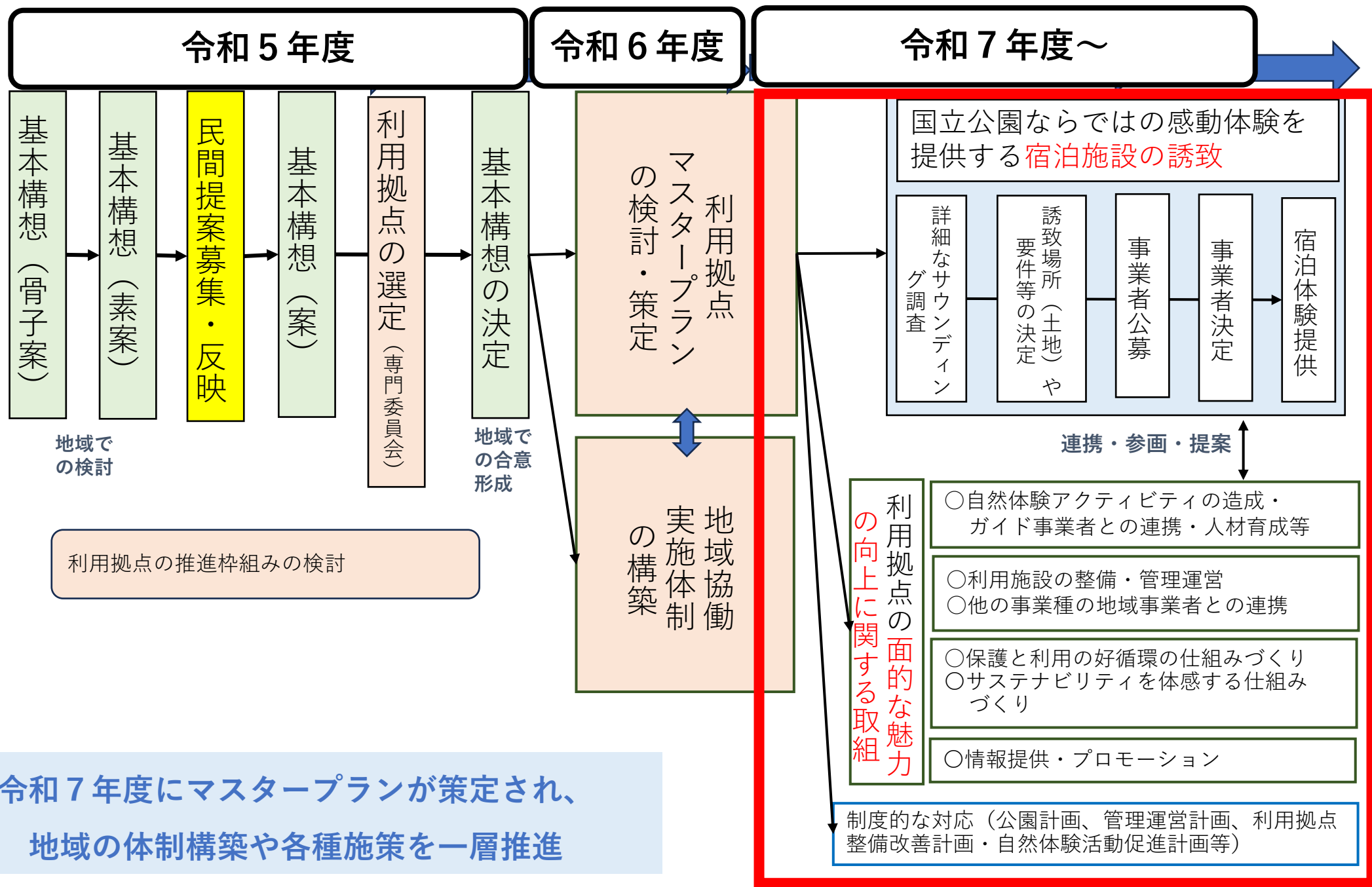




マスタープランに基づく各施策の進捗状況

先端モデル事業の進め方



マスタープランに基づく各施策の進捗状況

【取組 1：景観改善】

(将来像) 廃屋が存在せず、統一感ある街並みや自然・信仰を感じられる眺望と景観が確保されている



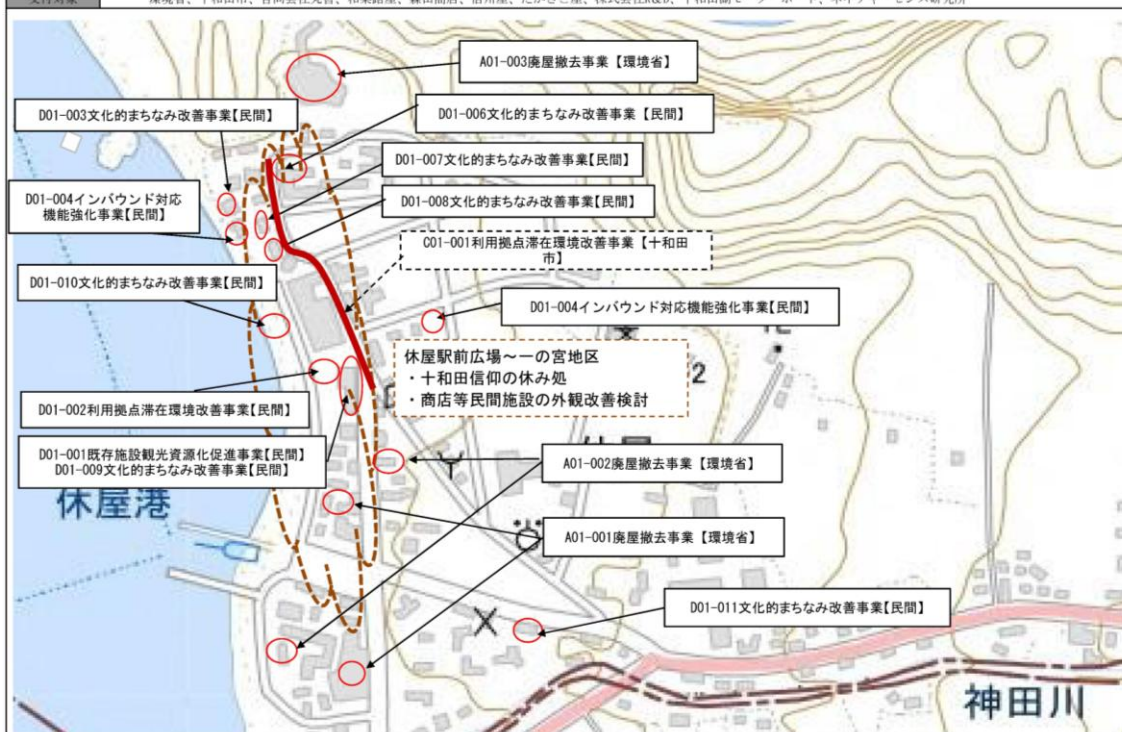
No.	R10年度までを目途に実施又は着手すべき施策★：優先事項		進捗状況 (前回会議 (R8.2.17) 以降)	今後の方針・課題等
1	★	廃屋撤去【環境省】	【環境省】 旧十和田湖グランドホテル（本館）の解体撤去工事を 実施中（工期：R9.3）	廃屋残数17棟程度（R8.8時点）
2	★	既存施設の上質化へ向けた改修等（補助）【環境省・十和田市・小坂町】	【十和田市】 国立公園利用拠点計画を変更（R8.5） →【環境省】上質化補助金の採択・交付決定 ①石畳化設計（十和田市） ②宿泊施設の上質化改修（民間） ③宇樽部の廃船撤去（青森県）	【環境省】引き続き、適切な補助金活用に係る情報提供等の伴走支援を検討 【十和田市】計画に基づき、民間事業者による既存施設の改修、市による石畳化の実施設計を検討
3		建築物・広告物の景観管理ルール（法律・条例）の明確化・見直し【環境省・青森県・秋田県】	【環境省】 「十和田八甲田地域管理計画書」の改定作業に着手（R8.6）	特別名勝及び天然記念物の「保存管理活用計画」に係る改定作業と連携を図る
4		古道（旧参道）の鳥居整備及び杉並木管理【民間】	なし	関連施策の進捗を踏まえ信仰WGで検討
5		主要な展望台における通景伐採等による俯瞰眺望の回復【青森県・秋田県】	【青森県】 前回会議以降に御鼻部山展望台及び瞰湖台では通景伐採は行っていない 【秋田県】 発荷峠展望台において眺望を妨げている支障木・枯損木について認識している	【青森県】各展望台の眺望景観の状況に関して情報提供をいただきたい。林野庁との調整には環境省にもフォローいただきたい。 【秋田県】伐採には、土地所有者（林野庁）との協議や県の予算確保が必要

【取組 1：景観改善】

【No.1廃屋撤去】 廃屋撤去工事（旧十和田湖グランドホテル本館）

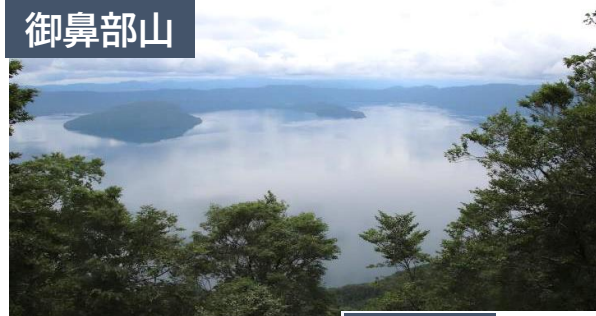


【No.2既存施設への上質化へ向けた改修等】 休屋地区 利用拠点計画の一部変更（上質化補助事業）



【No.5主要な展望台における通景伐採等による俯瞰眺望の回復】 現在の眺望状況

御鼻部山



瞰湖台



発荷峠



紫明亭



【取組 2 : 利便性・安全性の向上】

(将来像) 廃屋化が進む前 (H20頃) の水準で事業者・店舗が適切に営業している
各施設が安全・快適に利用できるよう適切に維持管理・再整備されている



No.	R10年度までを目途に実施又は着手すべき施策 ★：優先事項	進捗状況 (前回会議 (R8.2.17) 以降)	今後の方針・課題等
6	★ 主動線沿い(廃屋跡地等)の事業者誘致及び滞留・休憩スペース充実【環境省・十和田市】	【環境省】宿舎事業者の公募を開始 (R8.5)	9/30参加×切、11/30提案書×切
7	★ 湖畔林の適切な保全・管理及び湖畔沿い休憩スペースの充実【環境省】	【環境省】 ・廃屋跡地への芝張・ベンチ設置により、暫定的な休憩スペースとして開放 (R8.8) ・湖畔沿い危険木の調査を実施 (R8.8)	・廃屋跡地広場をR8湖水祭り会場に活用 ・湖畔沿い危険木は年内に一部伐採予定
8	★ 老朽化施設の再整備によるユニバーサルデザイン化・国土強靱化(駅前広場トイレ、湖畔遊歩道、休平園地トイレ)【環境省・秋田県】	【環境省】 湖畔遊歩道(護岸)工事を実施予定 (R8.9入札)	【秋田県】休平園地トイレはR5年に漏水修繕工事を実施。県内の各施設修繕等優先順位を検討した上で、予算確保に努める必要がある。
9	中山半島園地(十和田神社奥)の再整備【青森県】	【青森県】 R6年度に階段工、R7年度に法面保護工(石撤去)を実施済み。現在、破損箇所等は確認されていない。	信仰WGにおいて、階段上部の広場における眺望改善や看板整備等への要望があった。
10	自籠岩・占い場を繋ぐ歩道ルート整備・管理体制構築【環境省・民間】	R8.7.13第1回「信仰の魅力・価値提供WG」を開催	WG報告参照

【取組 2 : 利便性・安全性の向上】

【No. 6 主動線沿い（廃屋跡地等）の事業者誘致及び滞留・休憩スペース充実】

5/29公募開始（公募要領を公表）



環境省報道発表



環境省東北地方環境事務所
令和 8 年 5 月 29 日

十和田八幡平国立公園 休屋宿舎事業の事業者を公募します

<環境省自然環境局同時発表>

1. 東北地方環境事務所では、令和 5 年度から、十和田八幡平国立公園（十和田湖地域）において、国立公園ならではの感動体験を提供するため、宿泊施設を中心とした利用拠点の面的な魅力向上を図る「国立公園における滞在体験の魅力向上先端モデル事業」に地域関係者とともに取り組んでいます。
2. 令和 7 年 9 月には、地域協議会において、十和田湖地域の利用拠点（休屋・休平地区）における面的な魅力向上のための基本計画（マスタープラン）が策定され、廃屋撤去跡地への事業誘致に係る基本的考え方が示されました。
3. 本マスタープラン及び過年度の民間事業者サウンディング調査結果等を踏まえ、今般、同地区の廃屋撤去跡地において、民間の知見を活かした国立公園ならではの宿泊体験を提供するため、国立公園事業者（宿舎事業者）の公募を開始します。
4. 公募に参加いただける方を令和 8 年 9 月 30 日（水）まで募集いたします。多数のご応募をお待ちしております。
5. なお、先端モデル事業による宿舎事業者の公募は、全国で初めてです。

【No. 7 湖畔林の適切な保全・管理及び湖畔沿い休憩スペースの充実】 廃屋跡地の活用



R8湖水祭り会場に活用



芝張・休憩ベンチ設置

【No. 10 中山半島園地（十和田神社奥）の再整備】



（R6に整備した階段工 ▲）



（R7に実施した法面保護工 ▲ ）

【取組 3：歩いて楽しむための空間づくり】

（将来像）主動線（南北駐車場の区間）を中心に、冬季を含め、歩行者が安全かつ快適に地区内を回遊できる道路交通環境が整備されている



No.	R10年度までを目途に実施又は着手すべき施策 ★：優先事項		進捗状況 （前回会議（R8.2.17）以降）	今後の方針・課題等
11	★	主動線（神社参道含む）の石畳化・無電柱化 【十和田市・環境省・民間】	【環境省】 石畳化・無電柱化、新たな玄関口整備、南駐車場の拡充に向けた現地調査・アドバイザー等へのヒアリングを実施（R8.5） 【十和田市】 十和田市管理区間の石畳化に係る実施設計を予定（R8下半期）	【環境省】 ・埋設管等の管理者協議や、環境省と市の管理区間の接続箇所（三差路付近）の調整が必要 ・R8年度内に将来的な整備イメージの作成及び技術的課題等のとりまとめを実施、R9年度以降の基本計画検討に繋げる
12		地区の新たな玄関口（サイン等）整備【環境省】		
13		南駐車場の拡充（南北駐車場間の回遊性向上）へ向けた調査検討【環境省・民間】		
14		歩行者優先空間ルール作り（進入・速度・車両制限等）へ向けた調査検討【環境省・青森県・秋田県】	なし	【環境省】施策No.11～13の検討内容を踏まえ、必要な取組が具体化され次第、検討を実施
15	★	移動支援モビリティ導入・乗換拠点整備へ向けた調査検討【環境省・十和田市・民間】		

【取組3：歩いて楽しむための空間づくり】

- 【No.11主動線（神社参道含む）の石畳化・無電柱化】
- 【No.12地区の新たな玄関口（サイン等）整備】
- 【No.13南駐車場の拡充（南北駐車場間の回遊性向上）へ向けた調査検討】

地区の玄関口、主動線、南駐車場の将来的な整備へ向けた検討状況

R8.5現地調査状況



【取組４：「ならでは」のコンテンツの磨き上げ】

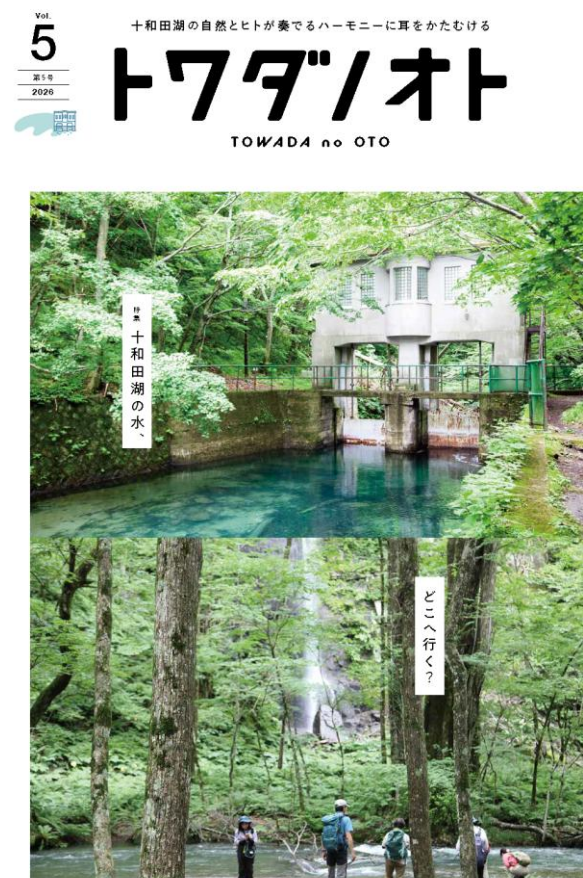
（将来像） 滞在型で高付加価値な自然・文化体験が提供されている
自然・文化への敬意が高い旅行者層が増加し、滞在時間・消費額が向上している



No.	R10年度までを目途に実施又は着手すべき施策 ★：優先事項	進捗状況 （前回会議（R8.2.17）以降）	今後の方針・課題等
16	★ インタープリテーション（魅力・価値のサービス化）計画策定【環境省・民間】	【環境省】 インタプリテーション冊子（十和田湖コミュニケーションBOOK）を作成（R8.9）	【環境省】制作媒体の地域への全戸配布、インタプリテーション冊子の活用に向けた勉強会等を予定（R8年度内）
17	★ 十和田湖ならではの魅力・価値のインターブランディング及び商品化検討・勉強会等【環境省・民間】	【環境省】 「トワダノオト」5号を発刊（R8.9） （今年度内に6号・7号を発刊予定）	
18	湖の神秘性・自然の成り立ちを実感するコンテンツ（カヌー等）の検討・磨き上げ【環境省・民間】	なし	【環境省】特に冬季の体験提供不足が課題
19	十和田信仰を実感するコンテンツ（占い場体験等）の検討・磨き上げ【環境省・民間】	R8.7.13 第1回「信仰の魅力・価値提供WG」を開催	WG報告参照
20	北奥の暮らしを実感するコンテンツ（ヒメマス漁や冬季体験）の検討・磨き上げ【環境省・民間】	【環境省】 冬季の新たな滞在体験創出に係る実証事業を企画 【民間】 ビジターセンター運営協議会によりヒメマス放流体験を企画（R8.6）※荒天のため中止	【環境省】ヒメマスや冬季の魅力を活用した滞在体験創出に向け、さらなる官民連携が必要
21	水上スキー等湖面利用状況及び占い場利用ルールの調査検討【関係行政機関・民間】	R8.7.25,8.9「湖面利用WG」を開催	WG報告参照

【取組4：「ならでは」のコンテンツの磨き上げ】

【No.16インタープリテーション（魅力・価値のサービス化）計画策定】
【No.17十和田湖ならではの魅力・価値のインナーブランディング及び商品化検討・勉強会等】



十和田湖「ならでは」の魅力と価値を地域で共有し、伝えるための媒体制作

【No.20北奥の暮らしを実感するコンテンツ（ヒメマス漁や冬季体験）の検討・磨き上げ】

十和田湖 ひめまスの稚魚放流体験

参加無料

十和田湖ふ化場で丹念に育てられた稚魚をバケツに入れて湖畔から放流します。かわいいヒメマスたちと、長く受け継がれる伝統事業を体験してみませんか？

参加受付中！

【開催日】 6月15日 日
【所要時間】 14:00～15:00
【定員】 10名（先着順）
【参加申込】 十和田ビジターセンター
〒018-5501 十和田市大字奥津字十和田湖畔休屋486
TEL: 0176-75-1015
メール: towadako_vc@chorus.ocn.ne.jp

※当日13:55 までに十和田ビジターセンターへお越しください。
※放流場所までは車で移動しますので自家用車でお越しください。
※悪天候の際は中止となりますのでご了承ください。

【主催】 十和田ビジターセンター運営協議会
【協力】 十和田湖増殖漁業協同組合 十和田湖ふ化場
(一財)自然公園財団 十和田支部

ヒメマスに関する体験イベントとして、漁協と自然公園財団の協力により初企画

- 目的 ✓ 「取組1:景観改善」「取組2:利便性・安全性の向上」「取組4:“ならでは”のコンテンツ磨き上げ」に係る施策について、内容の検討や協議を行う。

■第1回WG(7/13)の結果概要

1. 当面の目標と検討課題

- ✓ 当面は占場の体験提供を中心とした関係者協議・検討を行い、令和10年度中を目途に、具体的な体験提供の方法・体制を確立させる。
- ✓ 令和8年度は、①現在の占場の状態、管理体制の現状などを確認し、課題の洗い出し、②十和田信仰および占場の魅力(価値)を見直し、いつ・誰が・誰にむけて・どのように・何を提供するかを検討する。

2. 主な意見・共有事項

- ✓ 単なる観光名所ではなく、地域で大事にしている「信仰の場」として尊重しつつ検討していく。
- ✓ 文化財保護の観点からも、適切な手続きや保全措置を条件として活用可能性はあるとされた。
- ✓ 占場に実際に立つことで初めて伝えられる価値がある（湖と龍神信仰を一体で感じられる）。
- ✓ 占場は狭い空間であり、景観や信仰への影響を考えると利用人数の制限は必要。
- ✓ 占場の手前（中山半島園地）での古道や信仰の案内板整備、眺望改善等も必要。

3. 今後の予定

- ✓ 第2回WG開催（11月頃予定）
 - 調査結果報告のフィードバック、コンテンツ案の検討
- ✓ 第3回WG開催（令和9年1月頃予定）
 - 次年度へ向けた取組や方針の整理



■目的

- ✓ 「取組4：“ならでは”のコンテンツ磨き上げ」に係る施策について、内容の検討や協議を行う。

1. 当面の目標と検討課題

- ✓ 当面は水上バイク自粛エリアの周知徹底・パトロールを継続しつつ、湖面利用ルールの見直し等を検討
- ✓ 利用ルールに一定の整理がつけば、湖面利用の促進（観光振興）の観点も取り扱う。

2. 主な意見

■第1回WG（7月25日実施）

- ✓ 漁の網が水上バイクで切られた事案が過去にあった。
- ✓ 近年は大きな問題はなく、継続的なパトロールやチラシ配布による一定の効果が出ていると考えられる。
- ✓ 引き続き啓発活動の継続が重要。また、国立公園のルールに基づく看板設置等も今後検討する。

■第2回WG（8月9日実施）

- ✓ パトロールで青森県側7台、秋田県側15台の水上バイクを確認、検査未受検の水上バイクはなし。
- ✓ 青森県以外からの利用者への一層のマナー周知が重要。最新のチラシデータを関係自治体HPへ掲載する。
- ✓ 湖岸の放置ボートによる景観阻害、青森県有地の無断占用（キャンプ利用）への対応が必要。

3. 今後の予定

- ✓ 次年度も引き続きパトロール等を開催予定



周知チラシ

ライダーの皆様へ 重要なお知らせ

十和田湖での水上オートバイの利用は、
すべてのライダーのマナーとルール遵守に支えられています。

わずかな違反やトラブルが、
将来的な利用制限や環境への影響につながる可能性があります。

今後もこの美しい湖で走り続けるために——
一人ひとりが責任ある行動を心がけましょう。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



※詳しくは裏面をご覧ください

※沖合20m以内は、徐行(8km/h)でお願いします。
遊泳者がいる可能性あり。

参考:PWCエキスパートガイドマップ「十和田湖エリア」



「GPS機能を利用して、現在地と禁止区域を簡単に確認出来ます。」

- **航行自粛エリアには入らないようにしましょう。**
騒音や引き波について、手こぎボートの利用者や観光客、地域住民からの苦情が起こっております。
※詳しくは「航行自粛エリア」をご覧ください。
 - **遊覧船の近くでの走行はやめましょう。**
遊覧船への接近や前を横切ったりすると、事故発生の原因となります。
※沖合や遊泳禁止区域は、遊覧船の航行ルートと一致する場合があります。
 - **釣り船や釣り客に引き波をたてないようにしましょう。**
※詳しくは「釣り船・釣り客」をご覧ください。



NPO法人
パーソナルウォータークラフト安全協会
Personal Watercraft Safety Association
やさしく乗ろうよ、人も自然も大切に。

東北地方本部 東北・北支部

青森県黒石市大字温湯字竹原2-1
沢モータースTEL.0172-54-8600

関係機関

- 環境省東北地方環境事務所十和田八幡平国立公園管理事務所 ■一般社団法人十和田国立公園協会
 ■秋田県鹿角地域振興局 ■日本小型船舶検査機構 ■十和田市農林商工部商工観光課 ■秋田県警鹿角警察署
 ■青森県警十和田警察署 ■一般社団法人十和田奥入瀬観光機構

Rules for Jet Ski Riders

- Please do not enter restricted riding areas. There have been complaints from rowboat users, sightseers and local residents about backwash and noise by jet-skiers.
- Please do not ride on jet skis near sightseeing boats. Approaching sightseeing boats or crossing in front of them cause an accident.
- Please do not make backwash near fishing boats and anglers.

【取組 5：プロモーションの強化】

(将来像) 十和田湖地域のブランド力が向上し、国内外からの旅行目的地として選ばれている



No.	R10年度までを目途に実施又は着手すべき施策 ★：優先事項		進捗状況 (前回会議（R8.2.17）以降）	今後の方針・課題等
22		十和田湖地域に特化した各種プロモーション【各DMO】	【（一社）秋田犬ツーリズム】 スーツチャンネルにて、十和田湖畔のアクティビティ・スポットのプロモーションを実施 【（一社）十和田湖国立公園協会】 十和田湖 湖上遊覧一周ツアーの実施（R8.11.8）	・ <u>十和田湖に特化したマーケティングについては、秋田県側の情報も統合して更なる分析が必要</u> ・ <u>上記の分析結果に基づいたプロモーション施策等を検討</u>
23		十和田湖地域に特化した観光地マーケティング・ブランディングの強化【各DMO】	【（一社）十和田奥入瀬観光機構】 観光消費額、来訪者属性等、十和田湖に特化したマーケティング分析を実施 【(株)かづの観光物産公社・鹿角市】 国立公園指定90周年・70周年記念行事を実施 【日本郵便(株)東北支社】 国立公園指定90周年記念切手を発売（R8.9）	

【取組5：プロモーションの強化】

【No.22十和田湖地域に特化した各種プロモーション】
（一社）秋田犬ツーリズム：スーツチャンネルにて、十和田湖畔のアクティビティ・スポットのプロモーションを実施



【秋田旅行】グルメと温泉を堪能する1泊2日【日景温泉】
スーツ / Suit Channel
チャンネル登録者数 125万人
2878 共有 保存

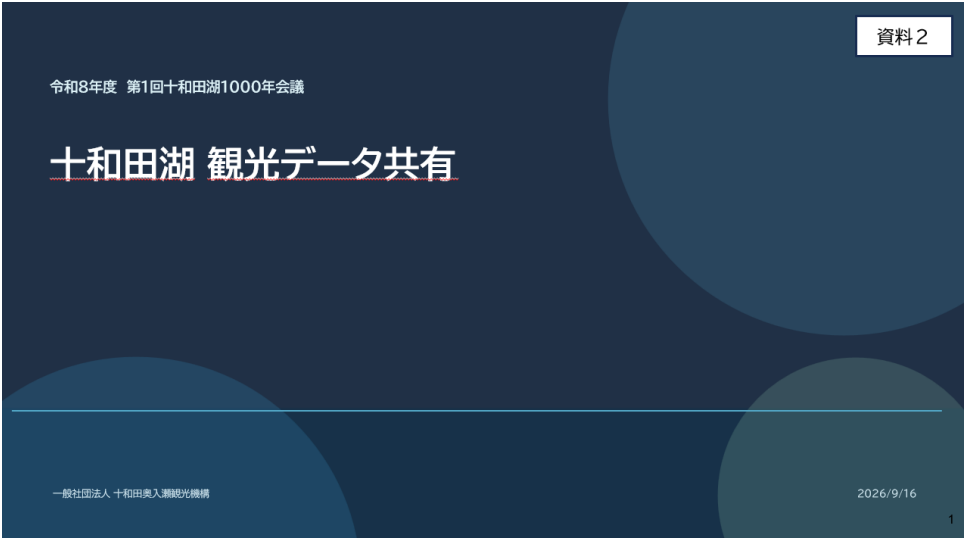


【秋田旅行】グルメと温泉を堪能する1泊2日【日景温泉】
スーツ / Suit Channel
チャンネル登録者数 125万人
2878 共有 保存

日本郵便(株)東北支社：
国立公園指定90周年記念切手を発売

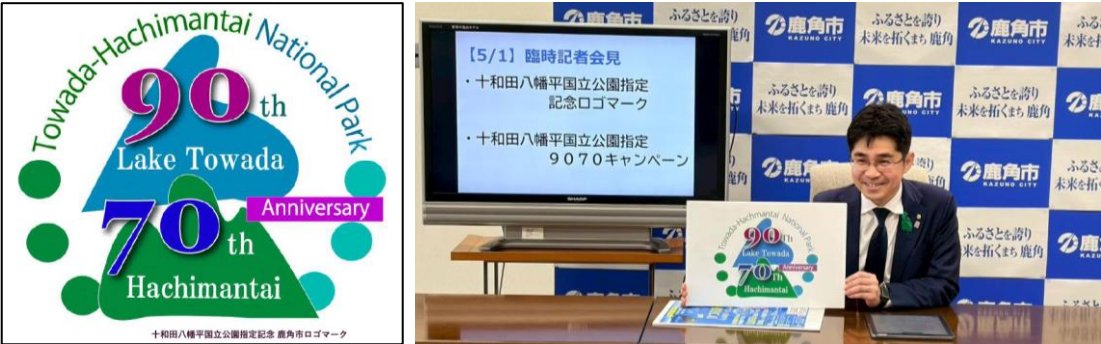


（一社）十和田奥入瀬観光機構：
十和田湖に特化したマーケティング分析を実施



【取組5：プロモーションの強化】

【No. 22十和田湖地域に特化した各種プロモーション】
(株)かづの観光物産公社・鹿角市：国立公園指定90周年・70周年記念事業を展開



花輪線に乗ろう

十和田湖 西湖畔散策

十和田湖プリンスホテルの ランチ旅

初秋の十和田湖を満喫する旅

美しい十和田湖西湖畔を専門ガイドと一緒に散策、昼食は湖畔に佇む十和田プリンスホテルのランチを楽しむ優雅な一日旅です。

初秋の十和田湖西湖畔

十和田プリンスホテルのランチ

湖畔に佇む十和田プリンスホテル

出発日	2026年10月4日(日)
集合場所	JR十和田南駅改札
旅行代金	お一人様7,000円 税込
募集人員	25名(最少催行人員10名)
食事条件	昼食1回付
添乗員	同行します
利用バス	秋北バス

行程

- 9:14着 JR十和田南駅到着・集合
※係員が改札でお待ちしております
- 十和田湖西湖畔を専門ガイドと一緒に散策
※平坦な湖畔散策路約90分
- 十和田プリンスホテルでランチをお楽しみください
- 14:18発 JR十和田南駅 解散
花輪線でお気をつけてお帰りください

お申込みのご案内

ご出発までにJR花輪線の乗車券をお送りします。最寄りの駅より各自ご乗車ください

○申込締切 2026年9月10日(木) 定員になり次第締め切ります。○定員25名、最少催行人員10名

○お客様の都合によりキャンセルされた場合はキャンセル料を頂きます

旅行開始の10日前～8日前…ご旅行代金の20% 7日前～2日前…ご旅行代金の30% 前日…ご旅行代金の50% 当日また無連絡…ご旅行代金の100%

○当日の天候・道路状況によりお時間・行程は変更になる場合がございます。

○係員が同行します。○ご旅行代金に含まれるもの…行程中のバス代、JR花輪線の乗車券代、行程中の食事(昼1回)、ガイド料、旅行保険、旅行業務取扱料金

秋田県知事登録旅行業第2-116号 企画 鹿角市・小坂町・JR花輪線利用促進協議会

お申込み お問合せ かつのDMO(株)かづの観光物産公社 (道の駅かづのあんたらあ)

TEL0186-22-0520 受付時間9:00～18:00 年中無休

十和田八幡平国立公園指定記念事業

十和田八甲田90周年 八幡平70周年

泊まって 食べよう

第2弾

かづの旅

応援クーポン

きりたんぼ鍋

湯瀬温泉郷

1,000円×5枚綴り

5,000円分のクーポン
4000ヤットが抽選で当たる

秋田県鹿角市内の
宿泊施設で使える

「たんぽぽちゃん」

15

【取組 6 : 暮らし・なりわいの持続性向上】

(将来像) 地域づくり組織が中心となり、地域の暮らし・なりわいに係る諸課題に持続可能な形で対応している



No.	R10年度までを目途に実施又は着手すべき施策 ★：優先事項	進捗状況 (前回会議 (R8.2.17) 以降)	今後の方針・課題等
24 ★	地区の不動産データベース化及び休廃業施設の有効活用へ向けた調査検討【環境省・十和田市・小坂町】	【十和田市】 空き家対策などの地域課題解決を担う組織の自立化を支援する「十和田湖地域づくり支援業務」を開始 (R8.8業務委託)	【十和田市】 ・空き家・空き店舗の調査を実施 (R8.9～10) ・空家相談窓口の設置に向けた調査研究を実施
25 ★	旧十和田湖小学校 (廃校) ほか、空き地空き家の活用検討【十和田市・民間】		
26	休平側空き地・空き家の利用方針検討【小坂町・民間】	なし	【小坂町】 関係機関との情報共有を実施
27 ★	ICT技術の活用等による地域の教育・医療サービス向上へ向けた調査検討【十和田市・小坂町・民間】	【十和田市】 現状や実現可能な施策について、環境省との意見交換を複数回実施	【十和田市】 医療サービス向上に係る検討のため、青森県や医療機関との意見交換を実施
28 ★	滞在型・高付加価値観光を支える地域づくり組織の設立・運営【民間】	十和田湖地域の地域づくり組織として「(一社) 碧のしずくと灯り」が設立し、施策No.24,25の十和田市業務と連携中	同左

【取組 6 : 暮らし・なりわいの持続性向上】

【No. 24地区の不動産データベース化及び休廃業施設の有効活用へ向けた調査検討】 十和田市／チラシ：空き家・空き店舗調査

十和田湖地域における空き家・空き店舗等の実態調査について

～空き家調査員が地域内を巡回します～

本市では、十和田湖地域における暮らし・なりわいの向上や、住まいの確保・遊休不動産の利活用促進に向けた基礎資料として建物実態調査を実施いたします。

調査期間中は、市が委託した調査員が地域内を巡回いたしますので、住民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

【調査対象】

- ・ 休屋の住宅、店舗併用住宅、空き店舗・休廃業施設等

【調査内容】

- ・ 調査員は敷地内には立ち入らず、沿道等からの外観目視により建物の現況確認および写真撮影を行います。

【調査員について】

- ・ 十和田市が委託した事業者（大日本ダイヤコンサルタント株式会社）の調査員が巡回します。
- ・ 調査員は、十和田市が発行する身分証明書を携帯し、腕章を着用のうえ調査を行います。



【調査期間】

- ・ 令和8年9月下旬 ～ 10月中旬（予定）

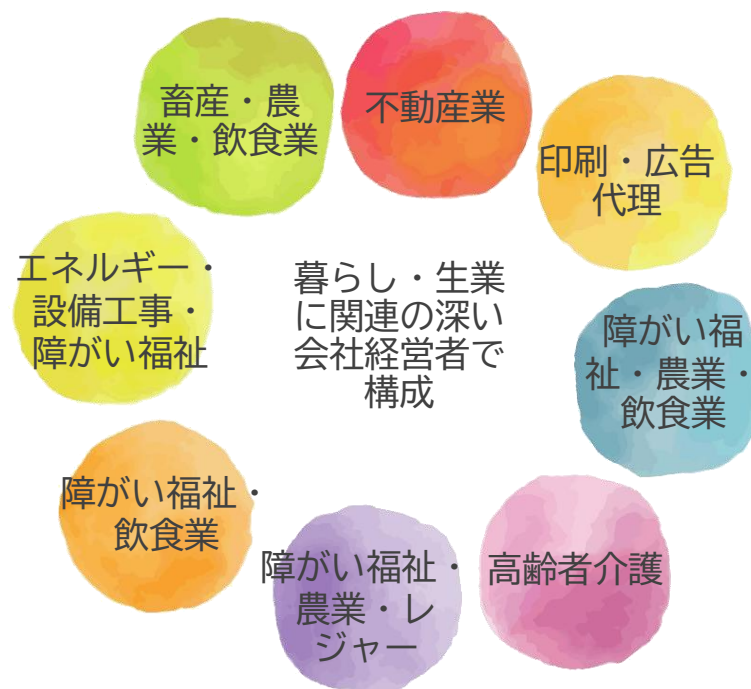
【No. 28滞在型・高付加価値観光を支える地域づくり組織の設立・運営】

一般社団法人 碧のしずくと灯り

- ・ 令和7年12月26日設立
- ・ 代表理事：佐々木 佳弘

（設立目的）十和田湖地域の持続可能な環境保全と暮らし・産業の発展を実現するため、地域の課題に主体的に向き合い、行政や地域と共に新たな価値と事業を創出し、未来へつながる豊かな地域づくりを推進します。

（役員の専門分野）



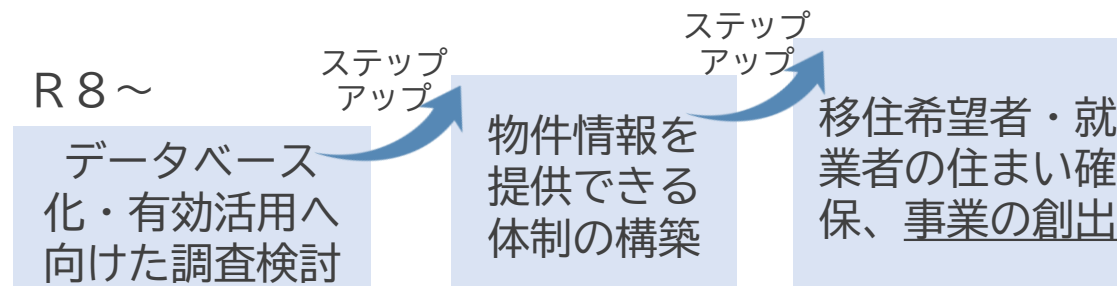
■目的

- ✓ 「取組6:くらし・なりわいの持続性向上」に係る施策について、内容の検討や協議を行う。

■第1回WG(7/30)の結果概要

1. 当面の目標と検討課題

- ✓ 当面は施策No24「地区の不動産データベース化及び休廃業施設の有効活用へ向けた調査検討」を中心に協議し、空き家等の情報整理及び住まい確保等について、具体的対策に繋げる。



2. 主な意見

- ✓ 十和田市・小坂町ともに空き家バンク制度を運用しているので、既存制度と連携する必要がある。
- ✓ 空き家への移住希望者へ地域のルール等を助言する仕組みも有効。
- ✓ 空き家の所有者を近所の人把握している場合もあるため、住民の協力で物件の掘り起こしが進む。
- ✓ 福祉、医療、教育分野も、地域づくりを考える上で必須の要素で、横断的な対応が必要。

3. 今後の予定

- ✓ 空き家等の調査実施（9月～10月まで）
- ✓ 第2回WG開催（12月頃予定）

【取組 7：保護と利用の好循環】

（将来像）持続可能な利用拠点として、地域の管理運営に関して国内外から認められる仕組み及び財源が確保されている



No.	R10年度までを目途に実施又は着手すべき施策 ★：優先事項		進捗状況 (前回会議（R8.2.17）以降）	今後の方針・課題等
29	★	既存の利用者負担制度の運用見直し【環境省・民間】	R8.7.30 第1回「保護と利用の好循環WG」を開催	WG報告参照
30		持続可能な観光地としての国際認証（グリーンDESTINATION等）の取得及びゼロカーボンパークの登録【十和田市・小坂町・民間】	なし	他地域の事例等について、環境省、十和田市、小坂町で情報共有の実施等

■目的

- ✓ 「取組7:保護と利用の好循環」に係る施策について、内容の検討や協議を行う。

■第1回WG(7/30)の結果概要

1. 当面の目標と検討課題

- ✓ 当面は、既存の利用者負担の仕組み（休屋駐車場料金の活用）の充実について検討。
→駐車場料金を活用した冬季除雪や、公園利用者へのサービス向上等を目指す。
- ✓ 自動料金ゲート方式による駐車場管理の社会実験（別紙チラシ参照）の結果を踏まえ検討。
- ✓ 奥入瀬ビジョンの関連（入域料等）は、当該事業構想の検討状況に応じ、本WGでも議論を想定。

2. 主な意見

- ✓ 人件費等の高騰により、他の国立公園では駐車場料金の値上げが議論されている。
- ✓ 将来的に値上げを検討する場合は、利用者サービスの向上や地域の理解等に留意。

（サービス向上のアイデア）冬季の園路除雪、湖畔ベンチの充実、
跡地広場での休憩テント等

- ✓ 観光客にお金をかけて来てもらえるように、冬季を含めて魅力あるコンテンツが必要。

3. 今後の予定

- ✓ 第2回WG開催（年度内予定）
→ 社会実験の結果報告、次年度の自動料金ゲート方式の運用方針、サービス向上策などについて意見交換



【取組 7 : 保護と利用の好循環】

【No. 29既存の利用者負担制度の運用見直し】 自動料金ゲート方式による駐車場管理の社会実験

休屋北駐車場における冬季の自動料金ゲート社会実験結果（令和7年度）

- 自動料金ゲートの運営:
管理上の課題はあるが、冬季の厳しい環境下でも設備の故障などではなく、技術的には運営可能。
- 駐車場管理運営に係る収支:
人員配置等の見直しにより採算性の可能性はあるが、冬季以外も含め更なる試行や検証が必要。
- 利用者の反応:
冬季の駐車場運営(ゲート化・有料化)に理解を得られたが、料金の使途明確化を求める意見が多かった。

令和8年度も課題改善、通年収支の検討等のため、実証実験を継続

9月頃～11月
社会実験(Ⅰ)
24時間ゲート化

12月～翌2月
社会実験(Ⅱ)
昨冬の課題対応

事前精算方式なども比較検討

R9年度～
実験結果を踏まえ
本格導入を検討

【No. 29既存の利用者負担制度の運用見直し】 周知チラシ：自動料金ゲート方式による駐車場管理の社会実験



2026 年 9 月 5 日～11 月 30 日

休屋北駐車場 24 時間化 社会実験のお知らせ

休屋北駐車場では、日中に有人で料金徴収を行っていましたが、自動料金ゲートによる試行的な管理運営（社会実験）を行います。

実験期間中は利用台数・管理コスト・機械ゲート式（無人運営）の課題等を把握し、今後の駐車場運営について検討します。

十和田湖の通年観光を拓く第一歩としての取組にご理解とご協力をお願いします。

なお、12 月以降は、別途冬季利用に伴う社会実験を実施予定です。

十和田湖・休屋マップ



場所：休屋北駐車場
青森県十和田市奥瀬
十和田湖畔休屋

場所：休屋北駐車場



実施概要

自動料金ゲートを 24 時間運用し、夜間も含めて駐車場料金を徴収します。いただいた駐車場料金は、地区の清掃、草刈り、除雪などの通年の観光の受け入れのために活用します。

- 料金

 - 乗用車 500円／24h
 - バス(マイクロ含む) 2,000円／24h
 - バイク 200円／24h
- 期間

2026年9月5日(土)
～2026年11月30日(月)

巻末資料／WG出席者【信仰の魅力・価値提供WG】

■第1回：令和8年7月13日(月) @十和田湖観光交流センター(ぷらっと)
(議事)WGの目的等の共有、占場、湖底調査の概要と結果、十和田信仰や古道など歴史的背景等

No.	団体名	役職・氏名(敬称略)	参加趣旨
1	十和田神社	禰宜 高橋 知生	十和田信仰に関する全般的な関与
2	十和田湖伝説の伝え方を考える会 十和田湖自然ガイドクラブ (一財)自然公園財団十和田支部	会長 会長 中川 一樹 解説員	体験を届ける活用者の立場として
3	十和田湖伝説の伝え方を考える会	副会長 森田 一成	
4	十和田湖伝説の伝え方を考える会 十和田湖の案内人 遊部屋十和田	事務局長 山下 晃一 代表	
5	十和田湖ガイドハウス権	代表 太田 泰博	
6	奥入瀬ネイチャーガイド FORESTON	代表 丹羽 裕之	
7	十和田市教育委員会 スポーツ・生涯学習課	市史編さん室長 山崎 武 文化係長 古舘 大輔 主事 本多 千浩	文化財の管理者
8	環境省東北環境局 十和田八幡平国立公園管理事務所	所長 松尾 浩司、国立公園管理官 鈴木 愛、 国立公園利用企画官 伊藤 佳明 滞在環境整備専門官 漆舘 一樹 自然保護官補佐 中園 顕三	国立公園の管理者
9	JTB総合研究所リージョナルコンサルティング共創部	主任研究員 坂本 有希	環境省業務請負者
10	(一社)十和田奥入瀬観光機構 地域連携部	部長 磯 汐梨、下村 千恵子、郭 広美	事務局
11	(一財)十和田湖ふるさと活性化公社 ろまんパーク事業部	部長 内沢 哲也	

■第1回：令和8年7月25日(土)@国立公園協会、十和田湖畔
(議事)国土交通省東北運輸局によるパトロールへ同行し、意見交換を実施

No.	団体名	役職・氏名(敬称略)	参加趣旨
1	PW安全協会東北地方本部北支部	副支部長 澤 真史	(旧)十和田湖観光推進会議のメンバーを中心に構成
2	(一財)自然公園財団十和田支部	長畑 隆博	
3	青森県十和田警察署十和田湖駐在所	巡査部長 中田 明	
4	十和田市 農林観光産業部 観光課	主事 小坂 大智	
5	小坂町 観光産業課	主事 高橋 慶彦	
6	環境省東北環境局 十和田八幡平国立公園管理事務所	所長 松尾 浩司、国立公園管理官 市川 淳史、 自然保護官補佐 岩澤 秀一	事務局
7	(一社)十和田湖国立公園協会	事務局長 太田 勝男	

■第2回：令和8年8月9日(日) @ 十和田ふるさとセンター、十和田湖畔
(議事)日本小型船舶検査機構青森支部の職員が同行し、パトロール・意見交換を実施

No.	団体名	役職・氏名(敬称略)	参加趣旨
1	PW安全協会東北地方本部北支部	副支部長 澤 真史	(旧)十和田湖観光推進会議のメンバーを中心に構成
2	(一財)自然公園財団十和田支部	主任 大久保 裕未	
3	青森県十和田警察署十和田湖駐在所	巡査部長 中田 明	
4	秋田県鹿角警察署錦木駐在所	斎藤 響空	
5	青森県環境エネルギー部 自然保護課	総括主幹 櫻庭 賢一 主事 明石 花音	
6	青森県観光交流推進部 観光政策課	主事 長谷川 樹	
7	秋田県鹿角振興局地域企画課	課長 渡部 進雄	
8	環境省東北環境局 十和田八幡平国立公園管理事務所	所長 松尾 浩司 国立公園管理官 市川 淳史 滞在環境整備専門官 漆館 一樹 自然保護官補佐 岩澤 秀一	事務局
9	日本小型船舶検査機構青森支部	検査員 穴澤 一真	
10	(一社)十和田湖国立公園協会	事務局長 太田 勝男	

巻末資料／WG出席者【くらし・なりわいWG・保護と利用の好循環WG】

くらし・なりわいWG

■第1回：令和8年7月30日(木)@十和田湖観光交流センター(ぷらっと)
(議事)WGの目的及び空き家等の利活用促進に向けた意見交換等

No.	団体名	役職・氏名(敬称略)	参加趣旨
1	(一社)碧のしずくと灯り	代表理事 佐々木 佳弘	住まいやくらしの課題解決に取り組む組織
2	(一社)十和田湖国立公園協会	常務理事 生出 隆雄、事務局長 太田 勝男	地域の清掃・除雪に取り組む組織
3	十和田湖畔の未来協議会	会長 下山 政和	廃屋跡地などを活用した地域活性化に取り組む組織
4	休屋町内会	会長 金村 金作	地域住民の代表
5	環境省東北環境局 十和田八幡平国立公園管理事務所	所長 松尾 浩司、国立公園利用企画官 伊藤 佳明、 滞在環境整備専門官 漆館 一樹	国立公園の管理者、土地所有者
6	十和田市 農林観光産業部 観光課	課長 下久保 健一、課長補佐 吉原 賢	事務局
7	小坂町 観光産業課	主事 高橋 慶彦	

保護と利用の好循環WG

■第1回：令和8年7月30日(木) @十和田湖観光交流センター(ぷらっと)
(議事)WGの目的及び利用者負担制度についての意見交換等

No.	団体名	役職・氏名(敬称略)	参加趣旨
1	(一財)自然公園財団十和田支部	所長 久保田 隆之	公共駐車場料金による利用者負担の仕組みの管理運営主体
2	(一社)十和田湖国立公園協会	常務理事 生出 隆雄、事務局長 太田 勝男	地域の関係事業者の団体
3	休屋町内会	会長 金村 金作	地域住民の代表
4	十和田市 農林観光産業部 観光課	課長 下久保 健一、課長補佐 吉原 賢	基礎自治体及び持続可能な観光地を目指す観点として
5	小坂町 観光産業課	主事 高橋 慶彦	
6	環境省東北環境局 十和田八幡平国立公園管理事務所	所長 松尾 浩司、国立公園利用企画官 伊藤 佳明、 滞在環境整備専門官 漆館 一樹	事務局